

すべての人が幸せに暮らせる社会へ



いきがい・助け合い オンラインフェスタ 2026

目指せ 地域共生社会

今年も地域づくりに関する様々な全国の事例やノウハウを発信します。

助け合い創出の住民勉強会や、情報交換会、
専門職との連携を考える勉強会等にもぜひ、この機会をご活用ください！

開催
期間

2026年10月13日 火 >> 10月22日 木

オープニングフォーラム (敬称略)

その他プログラムは
中面をご参照ください

「ウェルビーイングを支える幸福な生活支援」

進行役

登壇者



宮本 太郎

中央大学法学部教授



新田 國夫

(一社) 日本在宅ケア
アライアンス 理事長



伊藤 達矢

東京藝術大学
社会連携センター
教授



澤出 桃姫子

(特非) ホームヘルパーノア
理事長
日常生活支援 あつぷ・
たすけ愛ふくろう代表



江田 佳子

佐々町多世代包括支援
センター 参事

プログラム

オープニングフォーラム

学ぼう編

特別トーク

語ろう編 (ライブ配信)

開催
方法

完全オンライン配信形式

気軽に興味のある分野を選べます。

11月30日(月)まで、ライブ配信プログラムを除く
すべてのプログラムのアーカイブ視聴を予定

申込
受付

2026年8月14日 金
~ 2026年10月22日 木 (最終申込日)



ホームページは
こちらから

最新情報を
随時更新中！

参加費
(税込)

《 通常お申し込み 》

1人1000円

新 《 勉強会特別お申し込み 》

1グループ5000円(人数制限なし)

※参加費と同額を当財団の「地域助け合い基金」に拠出して、地域活動を応援します。

※勉強会特別お申し込みの詳細は、お申し込みの際にホームページでご確認ください。

主催



公益財団法人

さわか福祉財団

お申し込みについて

以下の専用お申し込みウェブサイトからお手続きください（オンライン受付のみとなります）。

お申し込みはこちら

「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2026」お申し込みウェブサイト

<https://festa.sawayakazaidan.or.jp>

さわやか福祉財団のホームページからもアクセスが可能です。

<https://www.sawayakazaidan.or.jp>

こちらから
簡単アクセス



申込期間

2026年8月14日（金）～10月22日（木）（最終申込日）

参加費

《 通常お申し込み 》

1人1000円

新 《 勉強会特別お申し込み 》

1グループ5000円（人数制限なし）

※参加費と同額を当財団の「地域助け合い基金」に拠出して、地域活動を応援します。

※勉強会特別お申し込みの詳細は、お申し込みの際にホームページでご確認ください。

お支払方法

参加費のお支払いは、下記のいずれかが可能です。

クレジットカード

コンビニ決済

銀行振込

※株式会社ストライツ名義への
振り込みとなります。

主な対象

生活支援コーディネーター、協議体構成員、地方自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等の地域づくり関係者、国・関係機関、NPO・民間団体、企業、学校等の関係者、助け合い・支え合う地域づくりに関係する方、その他関心を持つ一般住民など

参加お申し込みを完了することで、すべてのプログラムが視聴可能です。

ライブの「語ろう編」以外の全プログラムを対象に、

アーカイブ配信（後日見逃し視聴）を11月30日（月）まで予定しています。

－ 後援 －

厚生労働省（社福）全国社会福祉協議会 日本生活協同組合連合会

（一社）日本協同組合連携機構（一社）全国農業協同組合中央会（公財）全国老人クラブ連合会

（特非）高齢社会をよくなる女性の会（公社）日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）

（一社）医療介護福祉政策研究フォーラム（特非）地域共生政策自治体連携機構

（認定特非）日本NPOセンター 高齢社会NGO連携協議会 日本退職者連合（一財）長寿社会開発センター

（一財）医療経済研究・社会保険福祉協会（一財）健康・生きがい開発財団（認定特非）サービスグラント

（特非）全国移動サービスネットワーク（特非）ニッポン・アクティブライフ・クラブ

（認定特非）日本ファンドレイジング協会（特非）全国コミュニティライフサポートセンター

（公財）公益法人協会（公社）日本フィランソロピー協会 小規模多機能自治推進ネットワーク会議

（一社）シニア社会学会（公財）Uビジョン研究所（一社）日本在宅ケアアライアンス 日本障害フォーラム

（公社）日本医師会（公社）日本看護協会（一社）日本老年医学会（公社）日本社会福祉士会

（公社）日本介護福祉士会（一社）日本介護支援専門員協会（公社）全国公民館連合会 全国自治会連合会

（公社）日本理学療法士協会（一社）日本作業療法士協会（一財）高齢者住宅財団（一社）高齢者住宅協会

（一財）年金住宅福祉協会（一社）日本経済団体連合会（経団連）日本労働組合総連合会（連合）

（順不同）

プログラム テーマと登壇者のご紹介

※プログラムの内容や登壇者は変更になる場合があります。

プログラムの日程は「配信スケジュール」をご参照ください。(敬称略・順不同)

オープニングフォーラム 10月13日(火) 13:05～14:45

「ウェルビーイングを支える幸福な生活支援」

本人の「ウェルビーイング」や「生きる喜び」を支える本質的な「生活支援」とはどのようなものか。子どもから高齢者まで全世代を視野に、共生社会を地域で実現するための方策、助け合いの意義等を豪華パネリストから事例も含めて語ってもらいます。

特別トーク 10月13日(火) (各15～30分)

地域づくり関係者がぜひ学んでおきたいこれからの社会の動きや制度、考え方などを各分野を代表する方々から語ってもらいます。どなたにも活用しやすいよう凝縮した内容を短時間でお届けする本フェスタならではの特別講演プログラムです。

ケアマネジメントにおける助け合いの位置づけ



石山 麗子

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科 教授

孤立予防と社会参加、助け合い



近藤 克則

千葉大学名誉教授・グランドフェロー
千葉大学予防医学センター
健康まちづくり共同研究部門 特任教授
(一財)医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構 研究部長

認知症の人への理解と対応



杉山 孝博

(医)石心会 理事長 川崎幸クリニック 院長
(公社)認知症の人と家族の会 顧問

目指す共生社会と 2040年に向けた地域包括ケアシステム



田中 滋

埼玉県立大学 理事長
慶応義塾大学名誉教授

これからの社会保障のあるべき姿



中村 秀一

(一社)医療介護福祉政策研究フォーラム 理事長
国際医療福祉大学大学院 客員教授
日本福祉大学 客員教授

共生社会を創るために



村木 厚子

(社福)全国社会福祉協議会 会長

地域づくりに関する最新政策動向



佐藤 清和

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課
地域づくり推進室長補佐

地域づくりに関する最新政策動向



大西 連

内閣府孤独・孤立対策推進室
孤独・孤立対策推進参与
(認定特非)自立生活サポートセンター・もやい
理事長

※ 内は現段階で予定している分野のテーマです。正式なタイトルと各講演時間はフェスタのホームページでご紹介します。

学ぼう編(収録) 10月14日(水)～10月19日(月)

住民主体の地域づくりを進める上で直面する課題の解決に向けて、考え方の基本や各地の様々な事例の情報を多様に紹介するプログラムです。全国から寄せられる代表的なテーマから8つを設定しました。

10月14日(水) 13:00～14:00

地縁での助け合いをどう進めていけるか

人と人とのつながりが希薄化し、各地で組織の存続や担い手不足、後継者問題が課題となる中、制度だけでは支えきれない「身近な助け合い」をどのように創出・継続していけばよいかについて、実践事例から探っていく。

進行役 高橋 良太

(社福) 全国社会福祉協議会地域福祉部 専門員
日本福祉大学福祉経営学部
医療・福祉マネジメント学科(通信教育) 教授

登壇者 戸澤 真澄 大館市 第1層生活支援コーディネーター
白岩 正明 (認定特非) 若葉台 会長

10月15日(木) 13:00～14:00

住民の意識をどうしたら醸成できるか

住民主体の地域づくり一番の課題は「自分ごと」と感じ、主体的に参画する人を増やすこと。社会や意識の変化、人口減少や世代交代など留まることのない時の流れの中で、その変化に対応し広げてきた実践から学ぶ。

進行役 初鹿野 聡

さわやか宮崎 リーダー

登壇者 斉藤 節子 南アルプス市
元第1層生活支援コーディネーター
渡邊 ユミ 五ヶ瀬町 第1層生活支援コーディネーター

10月16日(金) 13:00～14:00

シニアの地域参加の広げ方

少子高齢社会に向けてシニアの社会参加はますます重要になってきている。地域参加実践者や地域コミュニティづくりを促す立場の登壇者による具体的な事例や取り組みを踏まえて、課題となっている地域参加の広め方、受け入れ側とのつなげ方等を皆で考える機会としたい。

進行役 藤原 佳典

(地独) 東京都健康長寿医療センター研究所 副所長
日本世代間交流学会 副会長
(特非) 日本世代間交流協会 副会長

登壇者 中村 文則 陽だまりみんなの食堂 主宰
野中 孝泰 (特非) ニッポン・アクティブライフ・クラブ
会長

10月14日(水) 14:05～15:25

助け合いにつながる居場所とは

居場所で「自分から『助けて』と言えるようになる関係」はどうやったら生まれるのか。それは回数なのか、それとも運営方法なのか。35年にわたる実践者であり推進者が示す様々な方法やコツを、各地の居場所を見てきた研究者と深掘りしながら一緒に考えてみたい。

進行役 鶴山 芳子

(公財) さわやか福祉財団 常務理事
共生社会推進リーダー

登壇者 河田 珪子 地域の茶の間創設者
支え合いのしくみづくりアドバイザー
田中 康裕 合同会社 Ibasho Japan 代表

10月15日(木) 14:05～15:25

地域に広げよう生活支援(有償ボランティア)

各地で生活支援・移動支援のニーズは高く、継続的な仕組みとしての有償ボランティアが有効である。一方で「不安があり立ち上がらない」「家の中での生活支援に至らない」などの声もある。立ち上げの具体的なノウハウやコツを共有し、助け合い活動をもっと広げよう。

進行役 目崎 智恵子

(公財) さわやか福祉財団 共生社会推進リーダー
高崎市 第1層生活支援コーディネーター

登壇者 貝長 誉之 (社福) 太子町社会福祉協議会 事務局次長
島名 博美 有償ボランティアふぁみりー 代表

10月16日(金) 14:05～15:15

認知症の人と共に生きる地域づくり

「共に生きる存在」「共に生きる仲間」として、認知症の人々が地域の中で希望を持って自分らしく暮らしていくために、各地で様々な取り組みが進んでいる。今回は多世代交流の実践紹介から地域での活動展開へのヒントを考える。

進行役 堀田 聡子

慶応義塾大学大学院 教授
(一社) 人とまちづくり研究所 代表理事

登壇者 松山 なつむ 訪問看護ステーションかしわのもり
統括所長
市原 加代 美濃市地域包括支援センター
主任介護支援専門員
池ノ谷 照男 れんがの家デイサービス
池ノ谷照男と愉快な仲間

10月19日 月 13:00～14:00

子どもの育ちを地域で応援しよう

各地で子ども食堂、子どもの居場所づくりは広がりを見せているが、中高生を含めた若者対象の居場所はまだまだその数が少ない。若者も役割を持ちながら地域の中でつながっている場の実践を通じ、活動の工夫やネットワークづくりを考えていきたい。

進行役 奥山 千鶴子

(特非)子育てひろば全国連絡協議会 専務理事
(認定特非)ビーのビーの会長

登壇者 鶴田 あずさ (特非)みんなのおうえん団 代表理事

鶴田 雄大 (特非)みんなのおうえん団 学生部代表

小田 圭介 裾野市東地区おやじの会
「何にもしない合宿」実行委員長

生野 房江 名古屋市瑞穂区陽明学区
地域福祉推進協議会 会長

10月19日 月 14:05～15:15

助け合いの価値と評価の考え方とは

つながりの希薄化が進み、孤独・孤立が深刻な社会問題となる中で、人と人がつながり合い、助け合う活動はますます重要となっている。助け合いの効果や価値をどのように考えていけばよいのか、地域の実情と共に考える。

進行役 清水 肇子

(公財)さわやか福祉財団 理事長

登壇者 高木 大資

京都大学大学院医学研究科
社会的インパクト評価学講座 特定准教授

西上 ありさ

studio-L 東京事務所 代表
(一社)人とまちづくり研究所 理事

本多 則恵

(一社)成年後見普及協会 理事

語ろう編(ライブ配信／双方向での意見交換・質疑応答有) 10月20日 火～10月22日 木

住民主体の地域づくりを進める上で直面する課題の解決に向けた「実践編」として、3つの代表的なテーマを設定しました。事例の紹介をはじめ事前アンケート等を踏まえて、パネリストとの意見交換や質疑応答など現場の活動を意識した議論を行います。

10月20日 火 13:00～15:00

生活支援コーディネーターと協議体による地域づくり

地域支援事業の実施要綱など、その後の制度改正から「SCとしてのこれまでの活動を変えるの？」と不安の声も聞こえる。改めて、これからの地域づくりで何をを目指すのか、生活支援コーディネーターと協議体の役割を共有し、双方向で様々な悩みを登壇者と参加者で情報交換しよう。

進行役 鶴山 芳子

(公財)さわやか福祉財団 常務理事
共生社会推進リーダー

登壇者 田中 明美

佐野 泰史
江口 陽介

桃山学院大学社会学部ソーシャルデザイン学科 准教授

市川三郷町 第1層生活支援コーディネーター

(特非)市民生活支援センターふくしの家 理事長

10月21日 水 13:00～15:00

共生常設の居場所と多様な主体の連携

企業をはじめとする多様な主体の連携を共生常設の居場所から考えてみよう。連携先は何を求めているのか、どんな方法ができるのか、様々な実践事例を共有したうえで、連携に向けた悩みや方法、効果などを双方向で様々共有したい。

進行役 鶴山 芳子

(公財)さわやか福祉財団 常務理事
共生社会推進リーダー

登壇者 金内 勇樹

水上 妙子

野津 隆志

山村 弘美

新潟県高齢福祉保健課 主事

(社福)文京区社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター・
生活支援コーディネーター

兵庫県立大学名誉教授

(認定特非)コミュニティ・サポートセンター神戸 事務局長

10月22日 木 13:00～14:30

一人ひとりのニーズをどう地域全体で解決するか

高齢で一人暮らしになっても認知症になっても地域でいきいきと暮らせるために、一人ひとりのニーズをどう地域で支えていけるのか。助け合いと医療・介護、企業等との連携を含めて現場の課題や取り組みの方策を考える。

進行役 清水 肇子

(公財)さわやか福祉財団 理事長

登壇者 勝部 麗子

河崎 民子

中村 順子

林 信義

(社福)豊中市社会福祉協議会 参与 兼
コミュニティソーシャルワーカー 統括

(特非)全国移動サービスネットワーク 副理事長

(認定特非)コミュニティ・サポートセンター神戸 ファウンダー

(一社)群馬県医師会 副会長

(医)林クリニック 理事長

配信スケジュール

各プログラムの詳細は中面をご覧ください（時間は現段階でのおおよその予定です）。

10月	13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)
13:00	開会メッセージ			
13:05	オープニング フォーラム	地縁での助け合いを どう進めていけるか	住民の意識を どうしたら醸成できるか	シニアの 地域参加の広げ方
14:05		助け合いにつながる 居場所とは	地域に広げよう生活支援 (有償ボランティア)	認知症の人と 共に生きる地域づくり
14:50				
	特別トーク (特別講演)	特別トーク終了予定・18時		

10月	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)
13:00	子どもの育ちを 地域で応援しよう	生活支援コーディネーター と協議体による地域づくり	共生常設の居場所と 多様な主体の連携	一人ひとりのニーズを どう地域全体で解決するか
14:05	助け合いの価値と 評価の考え方とは			

- ・ 本フェスタ終了後、ご希望の参加者に各プログラムをまとめたダイジェスト版をご提供します。
- ・ 10月22日(木)までの開催期間中もお申し込みが可能です。ただし、お申し込み後、ご視聴まで登録手配に数日いただく場合があります(参加費は同額です)。

お問い合わせ

総合窓口

公益財団法人さわやか福祉財団
いきがい・助け合いオンラインフェスタ2026事務局

メール festa@sawayakazaidan.or.jp

TEL 03-5470-7751(平日9:30～17:30)

視聴に関するお問い合わせ

(運営委託先：株式会社ストラーツ内)

TEL 0120-059-733(平日10:00～18:00)